

授業科目 相談援助演習 III

【担当教員名】 青木 茂	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	○	◎	◎

【概要・一般目標：G10】
 ソーシャルワーク実践の基礎となる相談援助の技術を学ぶとともに、事例検討などを通して援助過程に必要な援助技術や実践方法(専門知識に裏付けられた思考や判断)、援助者としての態度などを修得する。
 相談援助に関する実習の基盤となる実践力の獲得、向上を目指す。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. ソーシャルワーク実践の基礎となる技術を習得する。
2. ソーシャルワークの実践過程への理解を深め、専門的知識に裏付けられた展開方法を習得する。
3. ソーシャルワークの実践事例を通して、ソーシャルワーカーが備えているべき情報処理技能、コミュニケーション技能、関係形成技能などについて考える。
4. クライアントの状況に応じた支援の方法を考える。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション	1	自己紹介 学習計画の確認 ほか
2	実践ツールの活用	1	ジェノグラム ほか
3	実践ツールの活用	1	エコマップ、ネットワークマップ ほか
4	実践ツールの活用	1	アセスメント ほか
5	集団援助技術の実践(グループワーク実践)	2,3,4	グループワークの方法と諸過程について学ぶ
6	集団援助技術の実践(グループワーク実践)	2,3,4	グループワークの方法と諸過程について学ぶ
7	集団援助技術の実践(グループワーク実践)	2,3,4	グループワークの方法と諸過程について学ぶ
8	集団援助技術の実践(グループワーク実践)	2,3,4	グループワークの方法と諸過程について学ぶ
9	集団援助技術の実践(グループワーク実践)	2,3,4	グループワークの方法と諸過程について学ぶ
10	チームアプローチの実践	2,3,4	連携やネットワーク キン グ カンファレンスの方法などを体験的に学ぶ
11	チームアプローチの実践	2,3,4	連携やネットワーク キン グ カンファレンスの方法などを体験的に学ぶ
12	チームアプローチの実践	2,3,4	連携やネットワーク キン グ カンファレンスの方法などを体験的に学ぶ
13	支援方法の検討	1,2,3,4	実践事例を通じて具体的な支援方法を考える
14	支援方法の検討	1,2,3,4	実践事例を通じて具体的な支援方法を考える
15	まとめ	1,2,3,4	考察 振り返り 自己課題の確認

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	社会福祉士 相談援助演習	日本社会福祉士養成校協会 監修	中央法規	2009・2,600円+税
その他の資料				

【評価方法】 出席状況、参加態度、取り組み成果を総合的に評価する。	【履修上の留意点】 グループ演習が中心となるので遅刻、無断欠席は厳禁。
--------------------------------------	--